

中国地方において、GDPに準拠した医薬品の共同物流を推進する

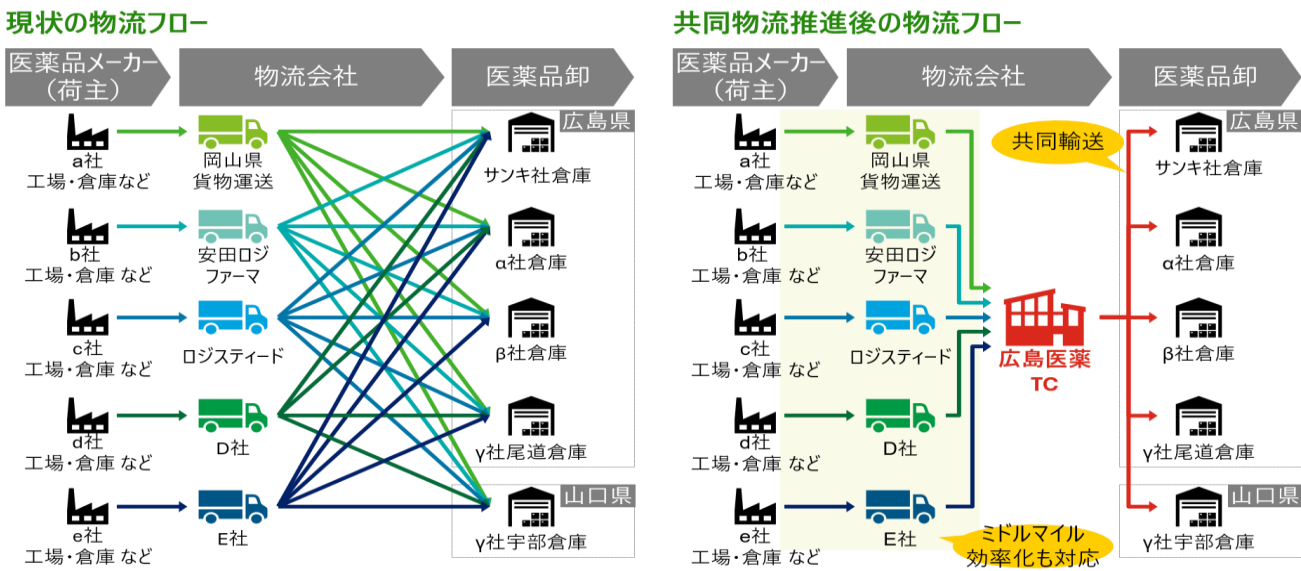
協議会名：中国地方医薬品共同物流推進協議会

協議会構成員
岡山県貨物運送株式会社、ロジスティード株式会社、安田ロジファーム株式会社、株式会社サンキ

【事業実施背景】
中国地方では、ドライバー不足が深刻化する中、中小の物流企業多いため、DX投資による標準化が進んでいないため、共同物流も道半ばである。特に、医薬品物流では、GDP*1に準拠した運用のための投資も進んでいないため、共同物流が難しい状況である。

事業内容

Point 岡山県貨物運送が保有する「GDPに準拠した通過型センター(広島医薬TC)」を外部と共同利用することで、GDPに準拠した医薬品共同物流を実現する。また、広島医薬TCに持ち込むためミドルマイル*2の効率化のための施策(ミルクラン*3など)を実施する。



想定事業実施効果

- 【医薬品の安定供給・物流品質の確保】
- 品質・安定供給面はGDP準拠、温度管理、トレーサビリティ、標準化・拠点機能整備で担保する
 - 中国地方の医薬品配送において低積載での配送を削減し、CO2排出量の削減を目指す
 - その結果、運輸業界の人手不足への対応や労務管理上の負担を軽減し、安定的に医薬品の供給ができる体制を構築する
- 【物流生産性向上】
- 既に2社の共同物流で、3台/日の削減が達成できているため、今後も同等以上の効果が見込めると想定している

*1：GDP：Good Distribution Practice（医薬品適正流通基準）、*2：物流拠点や配送センター、倉庫の間をつなぐ中間物流、*3：各工場・倉庫を巡回し、貨物を集荷する方法
令和7年度補正予算 地域の事業者間連携を通じた物流生産性向上推進事業